

活動名:土づくりと美食都市の視察～佐世保・雲仙市～

技術向上研修

実績:379千円

【内訳】

旅費 336千円

借上料 43千円

【活動目的・背景】

長崎県佐世保市の「菌ちゃんファーム」は、生ごみや草、竹、木炭等を使った野菜づくりを提唱しており、土壌微生物の働きを生かした環境に配慮した独自の農法で全国的に展開していることから、これらの活動が有機農業の推進と発展を目指す同協議会の目的に合致するため、視察先としました。

また、長崎県雲仙市は有機農業と食文化が連携した事例や有機農産物を使った食のブランド化が評価され美食都市に選ばれるなど、農と食の立体的な取り組みが先進的であることから視察先としました。



田中農園(雲仙市)



菌ちゃんファーム(佐世保市)



オーガニック直売所 タネト(雲仙市)



岩崎政利さん伝承品種

【視察内容】

■日程 令和6年12月11日～13日(2泊3日)

■視察先

長崎県佐世保市 菌ちゃんファーム(吉田俊道先生)

長崎県雲仙市(岩崎政利氏・つむら農園・田中農園・オーガニック直売所タネト)

■視察者 雲英頭一/石橋 智/松永宗憲/長尾隆司/佐野朋之 市/2名

【感想】菌ちゃんファーム(生産者の感想抜粋)

現地での説明を聞き、あらためて手法が理解できました。何よりその野菜の味が今まで食したことのない強いうまみに溢れて驚きました。高畝での有益性がよく理解できました。経営については、野菜を余すことなく粉末加工することで安定収入を得ている点は非常に参考になり当農園でも実践可能と感じた。

【感想】雲仙 田中農園(生産者の感想抜粋)

厳しい雲仙の気候に合わせた品種選定や農地管理など大変参考になりました。田中夫婦のおおらかな人柄に寄り添うような生き生きとした畑の野菜を拝見して、今後の農業経営に活かしたいと思いました。

【成果】

菌ちゃんファーム独自の農法は、土壌微生物の重要性和環境に配慮した農業への理解が深まり、同協議会の意識改革と技術向上に資するものでした。特に、野菜の味は大きなインパクトを与え、今後の栽培技術や経営方法に新たな視点をもたらしました。

一方、雲仙市の有機農業と食文化の連携やブランド化の事例は、地域活性化や販路拡大のヒントとなりました。また、気候に合わせた品種選定や農地管理は、飛騨市の農業にも応用できる実践的な知識となったほか、視察で得られた知識や情報は、協議会全体で共有され、今後の活動指針を策定する上で重要な材料となりました。視察を通じて、会員間の交流や情報交換が活発化し、連携を深めることができました。